

保原中央自治振興会だより

第7号

元.11.14 発行

発行責任者
会長 佐藤貞夫

活動報告

6月〜10月初めまでの主な各部主催事業を掲載します。参加された皆さんは楽しく生き生きと活動されています。詳しくはHPをご覧ください。

◆たくさん笑って、体すっきり◆

7月6日(土)、健康福祉部会、総務企画部会主催で「笑いヨガ、認知症を予防する!食事・運動・笑い」の講演会を開催しました。講師には、福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授、大平哲也先生をお招きしました。

当日は80名の参加があり、保原中央交流館大会議室は笑いの渦となりました。



次のような感想やご意見をたくさん頂きました。

- 分かり易い講演で楽しかった。
- 笑いが健康につながり、長生きできることがわかった。
- これからの生活が楽しく過ごせそう。悩みも笑いながら解決してみよう。
- いっぱい笑わしてもらった。
- 先生の技術最高。楽しく学べた。
- 大変良い講演会だった。又このような企画を希望する。

◆連鶴折り紙教室◆

6月2日(日)、13名が参加し保原中央交流館で行われました。講師は鎌田澄先生。丁寧なわかりやすくご指導いただき、美しい4連の連鶴を完成させました。



◆大人の料理教室「ビーフシチュー」◆

6月16日(日)、講師はELK料理隊長横山ハリス千絵先生と御子息のデナリさん。圧力鍋を使い、簡単に本格的な美味しいビーフシチューが完成しました。



◆尾瀬トレッキング◆

7月27日から1泊2日の行程で、21名が参加し行われました。朝6時にバスで保原中央交流館を出発し、群馬県鳩待峠に到着。昼食後、山ノ鼻↓中田代↓宿泊地の竜宮小屋まで、徒歩約2時間40分をかけ尾瀬湿原を堪能しました。

2日目は、台風の影響で朝から雨模様。竜宮小屋↓沼尻休憩所↓昼食場所の尾瀬沼ピジターセンターまで、徒歩約3時間30分の行程。湿原に見事咲き誇るニッコウキスゲを見たとき、一同感嘆の声があがりました。

その後、松枝岐で入浴、裁ち蕎麦を味わい岐路につきました。参加者からは、「美しい景色にたくさんの花、初めての尾瀬、初めての山小屋どまり、参加者がみんないい人で仲良くなりとても楽しかった」等の感想を頂きました。



◆バザー・フリーマーケット◆

8月10日(土)、保原体育館でフリーマーケットが行われ、本会も「制服のリサイクル販売ブース」を1区画出店しました。
10時の開店を待ち、多くの方々に来場いただきました。



◆プログラミング体験◆

8月1日2日、ことり塾の佐藤佳一郎先生を講師として開催。小学校で来年度から、プログラミング教育の必修化となります。アプリで水族館を作る体験を通し、参加した児童は楽しく学べました。



◆防災・減災ゲーム体験◆

7月27日(土) 13時30分から保原中央交流館で行われた、日本青年会議所東北地区福島ブロック協議会主催、「防災・減災ゲーム体験会」に本会からも参加しました。
自分が住む場所に、みんなで避難所をつくりあげる体験を通して防災について考えるよい機会となりました。災害はいつかくるもの。参加者から、非常時対応の難しさを実感できたとの声がありました。



◆大人の料理「オムライス」◆

8月10日(土)、料理教室を開催。講師には、E.L.K料理隊長の横山ハリス千絵先生、ご子息のデナリさんをお招きし、オムライスとラタトゥイユに挑戦しました。
最初に、チキンライスを作ります。炊飯器で炊き込みご飯にし、簡単に作れる方法を学びました。
次に、上にのせるオムレツを、デナリさんが実演でお手本を見せてくれました。その後参加者は、各自にオムレツを作り、オムライスを完成させました。
最後に、残った玉ねぎを使い、先生がコンソメスープをあつと云う間に作ってくれて、美味しいランチが出来上がりました。



◆伊達な太鼓まつり出店◆

8月25日(日)、昨年に引き続き今年も参加しました。
メニューは、「順子ちゃんのみそ田楽」「焼きトウモロコシ」「お菓子詰め放題」「冷たい飲み物」、そして今年から「生ビール」も登場しました。



◆ラフターヨガ◆

9月1日(日)、講師に快フィットネス研究所の丹治美昌先生をむかえ、保原小学校講堂で行われました。
この効果は、①免疫力が増す②ストレス解消③脳の活性化④若返る等々です。
ホ・ホ・ホ、ハ・ハ・ハ、の掛け声で、笑いの中楽しくできました。「笑いは健康のもと」ですね。



◆うたごえ喫茶◆

千本松四郎さんの軽快なアコーディオン伴奏にのり、時を忘れて歌います。

楽しく 元気に歌って 若返り

第3回 6月13日(木)

● 昭和の歌特集・誕生会

第4回 7月11日(木)

● 外国の歌特集・誕生会

第5回 9月12日(木)

● アニメソング特集・誕生会

第6回 10月10日(木)

● 古関裕而特集・誕生会



◆八甲田トレッキング◆

10月6日(日)・1日目

● 自然織り成す奥入瀬溪流探索
疲れを癒す酸ヶ湯温泉1泊

10月7日(月)・2日目

● 八甲田ロープウェイ山麓駅
色づき始めた八甲田探索

※参加者26名からの感想です。

● 「天候に恵まれた」「参加者と和気あ
いあいの交流ができた」「美しい自
然を満喫できた」「格安で楽しかつ
たに尽きる」「企画・指導者・事務
局に感謝」「又参加したい」等々。



町内会だより 小蓋町内会

多くの人が笑顔になる町内会へ

小蓋町内会長 佐藤 吉治

(文責 佐藤 彦一)

私たちの町内会は、桃陵中から北西に広がる地区にあり、現在の世帯数は87戸です。

自然環境がよく、西には半田山・南西には吾妻小富士や安達太良山が見え、地区の真ん中を古川が流れ、春先には鯉が上流に登って行くのが橋の上から見られます。朝夕の散歩コースとして保原下方部の方々に利用されています。

前の集会所は、町文化財に登録された養蚕神社内にありました。蚕神様と呼ばれ小蓋集落の氏神様として信仰され、県内外から毎年多くの方々が参拝に來られます。

平成20年、現在地に新築移転し、令和2年で20年目を迎えます。

春の花見は、集会所内のしだれ桜や満開のツツジを見ながら老若男女みんなが参加します。

秋には百人規模で行う芋煮会があります。以前はグラウンドで班別ソフトボール大会をし、その後芋煮会で親睦を図っていたそうです。今では、午前中に運動会があり、隣町に嫁いだ子どもや孫たちも顔を見せます。元気に走る子どもたちの姿を、老人会の方々が目を細

めて喜ぶ笑顔は何とも言いようがありません。

みんなが笑顔になる町内会活動の機会を多くしていきたいです。



「小蓋の流木」
このついでに、檜木は平成十春小蓋集会所敷地内に消防時水増建設工事平地下西メートルの処からおよそ小四メートル長さナメイトルの埋木(うもれき)として発掘されたものです。小蓋地域は昔阿武隈川(あむくまがわ)の重なる洪水がありその当時この地に流れ着き埋没したのと思われ、今日まで数百年にわたり小蓋集落の歴史を見證してくれました。これからは小蓋町内の繁栄と子孫の幸せをこの流木に託してついでとして展示させていただきます。
平成二十一年己丑春
製作者 高橋 幸郎

団体紹介
NPO法人 環境ワーキング
グループ伊達

理事長 菅野 幸雄

本グループは平成14年、当時の仁志田町長の提案で発足しました。町内の自然環境についての調査や保護活動等を進め改善案を提案することを目的に、任意団体として設立されました。発足当時は、主な河川の水質調査・希少生物の調査と保護増殖・富成小学校のカシの木再生事業などでした。合併後調査範囲を市全体に拡大し活動を継続しました。

平成23年3月、東日本大震災と原発事故が起き放射線が問題になりました。当初はグループ独自の調査でしたが、7月より伊達市の委託を受け市内19箇所の間と地表の線量を毎日測定し、今年中には連続三千回になります。更に25年8月から「市内一斉放射線測定マップ」作成のため、市内74地点の測定を行い、これらの結果は、市広報等で公表されています。

線量測定期間中も、月1回市内五河川水質の継続調査、希少生物の保護観測としてゲンジボタルの増殖、震災等の工事で激減し生存危惧のクマドホタルの調査、現在希少になったシロバナタンポポの

増殖、地球温暖化防止の啓発活動推進等を行ってまいりました。平成25年にはその成果を認められ、「全国いい川づくり大会」で最高賞のグランプリを頂きました。今後、市民の皆様の安全安心に供する活動を続けていきたいと考えていますので、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。



雨の中での放射線測定



シロバナタンポポ(左)



幼虫が発光するクマドホタル

保原の方言 その6

島田 久也

いやーはえーもんで、自治振だよりを出してがら、こどすのずうがづで2年目だない。作成におだげえーゆいこありいがつたない。

最近注目のニュースねえべが。記事に出さねつかなんねのない。わりげんじよ、あつたらおせえでくなんしよ。

このめえ霊山の山さ登ったどぎ、わけえ人がすってんべんのがんけでつっころび、膝をすっこぐつたのよ。むでつばなこどすつとそうなんだない。医者様の世話になんねよう、気ーつけて登んねばなんない。

←標準語

いやー早いもので、自治振だよりを出してから、今年の十月で2年目ですね。作成にお互いみんな助け合い、よかつたですね。

最近注目のニュースないですか。記事に出さなければならぬのです。悪いけど、あつたら教えてください。

この前霊山の山に登った時、若い人が頂上の崖で転倒し、膝にすり傷ができたのよ。無鉄砲なことをするとそうなんです。お医者さんの世話にならないよう、気をつけて登らなければならぬ。

※参考資料「方言集 故阿部包昭編集

お知らせ・参加者募集

◆本場の蕎麦打ち体験

- ・期日 11月23日(土) 午前8時集合
- ・会場 会津美里新鶴生涯学習センター
- ・対象 20名・会費 2000円

◆第2回ラフターヨガ(笑いヨガ)

- ・期日 12月8日(日) 13時30分
- ・会場 保原中央交流館大会議室
- ・対象 50名・会費 無料
- ・講師 快フィットネス研究所 丹治アドバイザー

◆門松作り

- ・期日 12月15日(日) 13時
- ・会場 保原中央交流館大会議室
- ・対象 20名・会費 300円
- ・講師 歴史研究者 遠藤利夫氏

◆みんなの健康介護教室「認知症ってなあに？」

- ・期日 12月21日(土) 13時30分
- ・会場 保原小学校 講堂
- ・対象 親子他50名・会費 無料
- ・講師 伊達市保原地域包括支援センター森所長

◆大人の料理教室「手作り餃子」

- ・期日 2月2日(日) 14時
- ・会場 保原中央交流館調理室
- ・対象 20名・会費 500円
- ・講師 大橋 愛様

◆スキー教室

- ・期日 2月16日(日) 8時集合
- ・会場 米沢スキー場
- ・対象 小学2年生以上 30名
- ・講師 保原町スキー協会

※対象は、保原36町内会地区住民

あしがき

年一度の祭礼のために地元若連は、太鼓練習や寄付のお願い・山車準備など各々の都合をつけて、数少ない世代を超えての地域活動を守る。子どもたちの人格形成の一助となるのでは。